

お知らせ

平成22年度の開園は4月1日(木)です。

当日、先着100名に苗木・花苗をプレゼントします。

●主な催し

展示

- 平成21年度写真コンテスト入賞作品展
⇒4/3(土)～4/29(木)
- 春の山野草展
⇒5/2(日)～5/4(火)
- 南東北3県ポタニカルアート作品展
⇒8/29(日)～9/12(日)
- きのご写真展
⇒10/9(土)～10/24(日)
- 平成22年度写真コンテスト入賞作品展
⇒11/2(火)～11/23(火)

観察会

- ガイドウォーク
⇒4月～11月まで毎週日曜日
- 四季観察会
①5/15(土) ②7/17(土)
③9/18(土) ④10/16(土)
⑤2/20(日)
- ホタル観察会
①7/2(金)～4(日)
②7/9(金)～11(日)

- 星空を見る会
⇒10/2(土)
- 早朝バードウォッチング
⇒5/22(土)

体験教室

- ハーブ石けん作り
⇒4/29(木)
- 野草園オリエンテーリング
①5/3(月) ②10/11(月)
- ミニSL運行
①5/2(日) ②5/3(月)
③10/9(土) ④10/10(日)
- ポニー乗馬体験
①4/29(木) ②5/5(水)
③10/11(月)
- ガーデニング教室
⇒5/29(土)
- 山野草の育て方教室
⇒6/22(火)
- 親子草花遊び 8/7(土)
- 木工工作教室 8/14(土)
- 草木染め 7/31(土)
- 紅花染め 9/23(木)

- プリザーブドフラワー教室
⇒11/9(火)
- 自主工作コーナー
⇒夏休み期間中

コンテスト

- 野草園の魅力を探る
写真コンテスト
⇒応募締切り10/11(月)

その他

- 春の野草園祭り
⇒4/29(木)～5/5(水)
- 秋の野草園祭り
⇒10/9(土)～10/11(月)
- 植物観察ときのご鍋
⇒10/17(日)
- 落ち葉たき
①10/30(土) ②11/6(土)

※都合により内容の一部が
変更になる場合があります。

◀野草園のホームページ▶
<http://www.yasouen.jp>



▲親子草花遊び



▲木工工作教室



▲餅つき

この花を 探せ!!

今回の花は
見つけれらるかな?



▲サラサドウダン 開花時期5月



▲ヒメサユリ 開花時期6月



▲ノリウツギ 開花時期7月

●開園時間等

- 開園時間
4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30

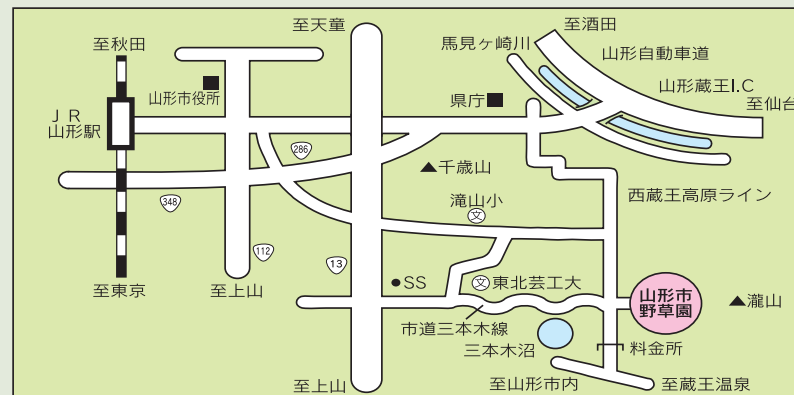
- 休園日／毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日
の場合はその翌平日

- 冬期間休園／12月～3月

- 入園料
大 人／300円
高校生以下無料
団体割引(20人以上の場合)
大 人／240円
高校生以下無料

●交通案内

- JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車
- 山形自動車道蔵王I.Cより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 滝山小、芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より市道三本木線経由で自家用車15分



野草園だより

編集・発行／山形市野草園

38号／平成22年3月発行(年2回発行)

〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3

TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

山形市

野草園だより

38号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

リウキンカ (キンボウゲ科)

花期 4月～7月

本州、九州の沼地や湿地に生える多年草です。雪解けとともに咲き始め、ザゼンソウ、ミズバショウとともに野草園の早春を彩る植物です。茎が立ち上がり、黄金色の花をつけることから立金花と名がついたそうです。野草園ではクリンソウの谷で見ることができます。

平成21年度 写真コンテスト最優秀・優秀作品

最優秀賞作品



泳イデル！ 佐藤悦子さん

優秀賞作品



初秋のミニSL 鈴木典夫さん

小中学生の部 最優秀賞作品



ひ・と・や・す・み 大滝優花さん

優秀賞作品



威風堂々 山川祐幸さん

第16回山形市野草園写真コンテストの審査を終えて

平成5年4月、「自然と人間の共生」をテーマに開園した野草園では毎年、「自然と想いと安らぎ」を求めて来園する人々の目見た野草園の魅力を捉えた写真コンテストを実施してきました。今回で16回目を迎えましたが、一般の部では53人から184点、小中学生の部では9人から22点の応募がありました。小中学生の部の応募者、応募点数が少なかったのが残念でした。

一般の部で最優秀となった佐藤悦子さんの「泳イデル！」は、遠足で野草園を訪れた幼稚園児が池を眺め、泳いでいる鯉の姿に感動している場面を捉えたものです。ベンチに並んだほえましい園児の姿と太陽の光を浴びた明るい場面を捉えたシャッターチャンスは優れたものです。

小中学生の部の最優秀となった大滝優花さんの「ひ・と・や・す・み」は花にとまった蝶の姿を捉えたものですが、しっかりと被写体にレンズを向け、周りの余分なものを切り取り、優れた構図で纏め上げた優れた写真です。

全体的に花や野草をアップ気味に捉えた作品が多かったのですが、冒頭申し上げましたように「自然と想いと安らぎ」を求めて訪れる人々と自然の触れ合いの姿を皆さんの感性で捉えていただきたいと思います。また、写真は光と影が織りなすものであり、光の扱い方を考えて撮影するとさらに優れたものになると思います。

最優秀をはじめ、入賞されました皆さん、おめでとうございます。これからも野草園の魅力を皆さんの目で引き出しただけのような、素晴らしい作品創りに励まれますようご期待いたします。

平成21年11月1日
審査員代表 阿部 直美

自然のたくみさ・ふしぎさ

春を彩る植物

野草園内のひょうたん池西側に広がる雑木林では、雪解けとともに様々な植物が咲き出します。今回は春の植物の中から、カタクリ、シラネアオイ、トガクシショウマについて紹介してみたいと思います。

カタクリは北海道、本州、まれに四国の林内に生えるユリ科の多年草です。雪解けとともに芽を出し、紫色の斑の入った葉を出し、葉の間から茎を立ち上げ、透明感のある美しいピンク色の花を咲かせます。20年近く生きる長寿の植物ですが、発芽してから花をつけるようになるまでには7年もかかります。カタクリの花は寒い夜の間は花粉を運ってくれる昆虫がやって来ないので、花を開閉してしまいます。昆虫が活発に動き出す気温（17℃以上）になると花を開いて花粉を運んでもらうようです。花びらが反り返っているのも、蜜を吸いにきた昆虫が垂れ下がる雄しべを抱え込むようにしてとまるので、体中、特に腹部は花粉まみれとなり、効果的に花粉を運んでもらうしくみになっています。また、カタクリの種子にはエライオソームというアリをおびき寄せるものが付いていて、アリを利用して種子を遠くまで運ばせてしまうのです。以前は球根から片栗粉を採っていました。

野草園では、4月中旬から下旬にかけて、ひょうたん池西側のトチノキ林全体がカタクリの紅紫色の花に覆われます。昨年、トチノキの間伐を行い、カタクリの生育しやすい環境を整えました。



カタクリ

春に咲く野草の中でも特に人気のあるものの一つにシラネアオイがあります。シラネアオイは日本特産の科一属一種の貴重な植物です。本州中部以北の主に日本海側の雪の多い深山に生える多年草です。5月上旬～中旬に茎の先に直径5～7cmの淡紫色の美しい花を咲かせます。花びらに見えるものは花弁ではなく萼片で、4枚ついています。



林内に咲くシラネアオイ

トガクシショウマはシラネアオイと同様に日本特産で一属一種の植物です。日本海側のブナ林等の多雪地に生える多年草です。山形県内でも自生地は限られていて、「山形県の絶滅危惧野生植物」のランクで絶滅危惧Ⅱ類となっている植物です。野草園ではシラネアオイとトガクシショウマはひょうたん池西側の雑木林に植栽されています。今回紹介した花の他にも、春の野草園では沢山の花々が見られますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。



トガクシショウマ

春に咲く絶滅危惧種の花々たち



サクラソウ サクラソウ科

花の形が桜の花に似ていることからこの名がつけました。



クリンソウ サクラソウ科

半日陰で湿り気の多いところを好みます。
花の咲く姿を五重の塔の九輪に見立てました。



ヤマシャクヤク ボタン科

以前は西蔵王地区でも沢山見られましたが、最近では里山の
荒廃と心ない人たちの園芸採取により、ほとんど見られな
くなりました。花だけでなく、花後の実もとてもきれいです。



クマガイソウ ラン科

袋状に見える唇弁を、源平合戦の武将熊谷直実が弓矢
を避けるために背負った母衣(ほろ)に似ることからつ
いた名です。



オサバグサ ケシ科

葉の形がくしの歯状になっていて、機織機(はたおりき)
の箆(おさ)に似ていることからついた名です。



オキナグサ キンボウゲ科

白い毛のある実をおじいさんの白髪にたとえて、翁草(お
きなぐさ)という名になりました。

春に咲く絶滅危惧種の花々たち



ナニワズ ジンチョウゲ科

北海道と本州中部以北の深山に生える常緑低木です。
枝先に黄色の花を多数咲かせます。



トウゴクミツバツツジ ツツジ科

東北地方から近畿地方の低山に生える落葉低木です。
枝先に3枚の葉が輪生します。



イソツツジ ツツジ科

北海道、本州北部の湿原に生える常緑低木です。
白い小さな花が枝先に多数集まって咲きます。



アズマシャクナゲ ツツジ科

本州中部以北の深山に生える常緑低木です。
葉の裏に褐色の毛が密生し、白く見えるのが特徴です。

園長挨拶

春の息吹が漂い、地に花香り、草の緑に色付く光景もじき見られる季節になりました。恵まれた自然環境、美しい風景、澄んだ空気、これが揃っているのが山形市野草園です。元々あった里山やザゼンソウ、ミズバショウの群生地をそのまま活かして、「市民の宝」といえる他に無い魅力を持った植物園として造られた野草園は、「自然ふれあいゾーン」、「観察ゾーン」に加えて、人工的に整備した「いこいのゾーン」、「友好姉妹都市ゾーン」が設けられ、自然空間と人為的空間の両方を併設しております。その他、野草園まつり等各種イベントも用意され子供さんから高齢者の方まで楽しめるようになっています。時々お出でになってリフレッシュするには最適の場所です。この冬は雪が少なかったので、マンサクはもう咲くばかりになっていますし、フキノトウも膨らんでいます。開園は4月1日からで、職員一同心からご来園をお待ちしております。